

発行所 環境農業新聞社
編集発行人 成瀬一夫
東京都豊島区東金町1-41-9
〒125-0041 フランス堂ビル3階
電話 03-3826-5212
FAX 03-3826-5217
年間購読料 3,000円(税・送料込)
郵便振替口座 00150-2-290578

環境農業新聞購読方法

年3,000円

毎月15日発行

FAX、メールでお申し込み下さい。

郵便振替口座 00150-2-290578

環境農業新聞

メール:ecoagri-na@sweet.ocn.ne.jp



初日午前中に記念写真

体・心・魂を癒す氣の医学

ZEN ホメオパシーが人類を救う!

全国各地で活躍する ホメオパスが集結

第20回記念JPHMAコンGRESS、盛大に開催

難病、発達障害を改善

由井名誉会長 感動して拍手鳴り響く の基調講演

「再現性のあるものは技術。理論は後付け」ホメオパシー療法は全国のホメオパスの症例発表で色々な病を完治させているが、現代医療業界にとって脅威な存在。必ず薬漬けにする医療、薬業界の反撃が出てくること間違いない。隠蔽・捏造の塊で多くの国民を騙し続けることはできない筈だ。国家予算が増え続けているが、それを阻止できないのか。予防医学や漢方の復活に期待高まる中、日本ホメオパシー医学協会は12月20日、21日の両日、東京・世田谷区民会館において第20回記念JPHMAコンGRESSを盛大に開催した。今回のテーマは「体・心・魂を癒す氣の医学ZENホメオパシーが人類を救う!」。年に1度の学術大会に相応しく全国各地で活躍しているホメオパスが色々な症例を発表、ポスター発表も行われた。海外から英国からトレバー・ガン博士、ドイツからロジャー・ソンネンシュミット氏が参加した。(関連記事6面)



基調講演する由井名誉会長



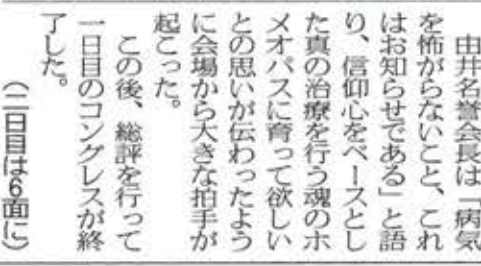
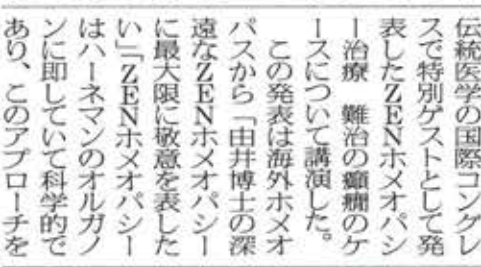
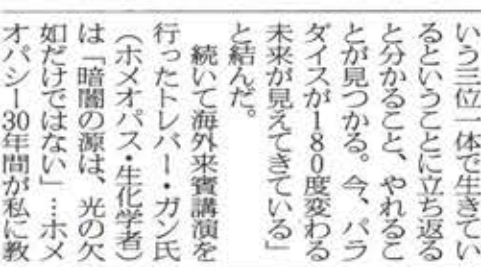
大会長を務めた松尾会長



トレバー・ガン氏



ロジャー・ソンネンシュミット氏



20回記念大会となった今回のコンGRESSは、お祝いのムードの中、松尾敬子大会長、由井寅子名誉会長の挨拶で始まった。松尾大会長は「第20回という記念すべき大会、皆さんこの日を迎えることができたことは素晴らしいことです。由井名誉会長はゼロからホメオパシーをスタートさせ、様々な困難を乗り越えてZENホメオパシーを確立しました。氣の医学として発展してきました。ホメオパスは魂のホメオパスとなるために日々実践と研鑽を積んできてい

ます。その素晴らしい成果と想いを一緒に共有したいと思えます」と力強く挨拶した。由井名誉会長は「23年前に日本に帰ってきて、最初は医療の取り組みを行い、それから日本人は罪悪感、自己卑下する

その後、症例発表が繰り広げられた。「リュウマチからの二次性の線維筋痛症が、鍼灸とホメオパシーで改善したケース」橋本孝子ホメオパス(仙台)、「自然農草木染での健康・自然文化の提供」大脇達也氏(同函南農場)、「トドマツ、カラマツを活用した精油商品化プロジェクト」丸山久氏(同洞爺農場)、「床上浸水被害の住居復興が「豊受御古菌」で解決した体験」阿部氏(豊受会館)。

「魂の救済を目的とした寅子先生のZENホメオパシーは現代のあらゆる難病や子供たちの発達障害を改善し、素晴らしい治療法だと思えます」という手紙が披露された。

「再現実性のあるものは技術。理論は後付け」ホメオパシー療法は全国のホメオパスの症例発表で色々な病を完治させているが、現代医療業界にとって脅威な存在。必ず薬漬けにする医療、薬業界の反撃が出てくること間違いない。隠蔽・捏造の塊で多くの国民を騙し続けることはできない筈だ。国家予算が増え続けているが、それを阻止できないのか。予防医学や漢方の復活に期待高まる中、日本ホメオパシー医学協会は12月20日、21日の両日、東京・世田谷区民会館において第20回記念JPHMAコンGRESSを盛大に開催した。今回のテーマは「体・心・魂を癒す氣の医学ZENホメオパシーが人類を救う!」。年に1度の学術大会に相応しく全国各地で活躍しているホメオパスが色々な症例を発表、ポスター発表も行われた。海外から英国からトレバー・ガン博士、ドイツからロジャー・ソンネンシュミット氏が参加した。(関連記事6面)

林且幸氏(日本豊受自然農函南農場)、「自然農での豊受米(朝日米)、古代米黒米の栽培報告」久木田健介氏(同函南農場)、「藍、ウコンなどの自然農草木染での健康・自然文化の提供」大脇達也氏(同函南農場)、「トドマツ、カラマツを活用した精油商品化プロジェクト」丸山久氏(同洞爺農場)、「床上浸水被害の住居復興が「豊受御古菌」で解決した体験」阿部氏(豊受会館)。

「この発表は海外ホメオパスから「由井博士の深遠なZENホメオパシーに最大限に敬意を表した」というZENホメオパシーはハーネマンのオルガノンに即して科学的であり、このアプローチを

人が多いということから、インナーチャイルドの問題に取り組み、自分を愛し、自分を受け入れられるようになってきました。そしてその後、霊性の問題に取り組んできました。病氣とは何だろうか?と原点に戻り、病氣は魂のくもりからくることもあり、信仰心をもって大いなるものから生かされているということを認識し、喜びをもってこの人生を生きていくことが大切である」と挨拶した。

次に国内来賓講演。自然派医師となっている高野弘之医師(豊受クリニック院長)は「現代において、私達は固定観念に縛られ、片寄りすぎているために、がんじがらめで動けなくなっている。もっとバランスをとって生きられるといい」と語り、「肉体、精神、霊性と伝統医学の国際コンGRESSで特別ゲストとして発表されたZENホメオパシー治療 難治の癩癧のケースについて講演した。この発表は海外ホメオパスから「由井博士の深遠なZENホメオパシーに最大限に敬意を表した」というZENホメオパシーはハーネマンのオルガノンに即して科学的であり、このアプローチを

「すこく発達を感じられるというのがありがたいです、今まではまた再発するんじゃないかという私達の恐怖が凄かったのですけれども、そういう次元にないというか、寅子先生とのセッションでそこまで引き上げていただいたなどというのを深く感じています」とお母さんから感謝の言葉が述べられた。

「その素晴らしい成果と想いを一緒に共有したいと思えます」と力強く挨拶した。由井名誉会長は「23年前に日本に帰ってきて、最初は医療の取り組みを行い、それから日本人は罪悪感、自己卑下する

「この発表は海外ホメオパスから「由井博士の深遠なZENホメオパシーに最大限に敬意を表した」というZENホメオパシーはハーネマンのオルガノンに即して科学的であり、このアプローチを

「この発表は海外ホメオパスから「由井博士の深遠なZENホメオパシーに最大限に敬意を表した」というZENホメオパシーはハーネマンのオルガノンに即して科学的であり、このアプローチを

「この発表は海外ホメオパスから「由井博士の深遠なZENホメオパシーに最大限に敬意を表した」というZENホメオパシーはハーネマンのオルガノンに即して科学的であり、このアプローチを

「この発表は海外ホメオパスから「由井博士の深遠なZENホメオパシーに最大限に敬意を表した」というZENホメオパシーはハーネマンのオルガノンに即して科学的であり、このアプローチを

「この発表は海外ホメオパスから「由井博士の深遠なZENホメオパシーに最大限に敬意を表した」というZENホメオパシーはハーネマンのオルガノンに即して科学的であり、このアプローチを

「この発表は海外ホメオパスから「由井博士の深遠なZENホメオパシーに最大限に敬意を表した」というZENホメオパシーはハーネマンのオルガノンに即して科学的であり、このアプローチを

第20回記念JPHMA コンGRESS2日目

治癒症例、ポスター発表、相次ぎ好評

多くのホメオパスが誕生

由井名誉会長 難聴の原因は前世から

第20回記念JPHMAコンGRESSの2日目。この日も最高潮の盛り上がりを見せ記念大会にふさわしい内容だった。ホメオパシー時代が遂にやってきた。日本の医療改革が始まったような雰囲気でも参加者一人一人の顔が自信に満ち、症例発表も充実したものであった。次回のコンGRESSは令和2年10月3日、4日に開催する予定。



今年も多くの方がホメオパスの認証を受けた



基調講演する由井名誉会長



豊受クリニックの高野院長



東昭史氏



米丸氏



20周年記念祝賀会で餅つきをする由井名誉会長

「家族全員がレメディー・フラウエッセンスをとり、精神面で相互に影響し合い改善したケース」
 「岡本祥子(東京吉祥寺御殿山)」
 「発達障害(自閉症)が改善し、生き生きと学校生活ができるようになったケース」
 「安武由希子(福岡香椎)」

翌2日目の開会で松尾敬子大会長は挨拶で「昨日、魂、心、体に届く素晴らしい発表を聞かせていただいた。本日もその活動を発表させてもらいます。ポスターでの発表もあり、こちらも素晴らしい治癒症例が発表され

る。今日も有意義な大会にしよう」と挨拶した。由井名誉会長は「様々な難病が増えていますが、自然とハーモニーを持って生きていくことが大切

なことです。ホメオパシーがパッシングを受けた時、切り抜けてくれたのは、自然農への方向転換でした。インナーチャイルドについて教え始めた

当初は驚かれましたが、今では多くの人が賛同してくるようになりました。治療家には、必要なのは愛です。それがなければ治療はできません。人生を生きる

2日目の症例発表は、犬の胆汁障害性肝炎における急性期にQX-1とSCIOを使って対処したケース。今村香ホメオパス(滋賀)、インナーチャイルドの気づきと治療力アップに有効な日本のジェモエッセンス。片上敦子

ホメオパス(練馬)、織田メディーで自分を愛すること。気づいた体験談、筋痛症の激痛から解放され、日常生活と未来への希望を取り戻したケース

佐藤文字子ホメオパス(札幌)、職場での不安感と動悸・不眠・アルコー依存と鬱からの脱却。杉浦美奈子ホメオパス(愛知三河安城)から発表された。

来賓発表でフラウエッセンスの研究者である東昭史氏が「日本のフラウエッセンス最新事情」と題して講演した。その後、昨年のコンGRESS以降、新たに認定を受けた、プロフェッショナルホメオパス、ファミリーホメオパス、インナーチャイルドセラピストに

由井名誉会長、松尾会長から各コースの代表の方々に認定が授与された。その後、相談と水のレメディーで自分を愛すること。気づいた体験談、筋痛症の激痛から解放され、日常生活と未来への希望を取り戻したケース

「緊急手術も想定していた卵巣の腫瘍が短期間で消失したケース」
 「鎌田砂江子(福井恐竜渓谷)」
 「水のレメディーによる甘酒の糖度の変化」
 「関守桂子 CHHome学生」

「愛知三河安城)から発表された。来賓発表でフラウエッセンスの研究者である東昭史氏が「日本のフラウエッセンス最新事情」と題して講演した。

その後、昨年のコンGRESS以降、新たに認定を受けた、プロフェッショナルホメオパス、ファミリーホメオパス、インナーチャイルドセラピストに

由井名誉会長、松尾会長から各コースの代表の方々に認定が授与された。その後、相談と水のレメディーで自分を愛すること。気づいた体験談、筋痛症の激痛から解放され、日常生活と未来への希望を取り戻したケース

佐藤文字子ホメオパス(札幌)、職場での不安感と動悸・不眠・アルコー依存と鬱からの脱却。杉浦美奈子ホメオパス(愛知三河安城)から発表された。

来賓発表でフラウエッセンスの研究者である東昭史氏が「日本のフラウエッセンス最新事情」と題して講演した。

その後、昨年のコンGRESS以降、新たに認定を受けた、プロフェッショナルホメオパス、ファミリーホメオパス、インナーチャイルドセラピストに

由井名誉会長、松尾会長から各コースの代表の方々に認定が授与された。その後、相談と水のレメディーで自分を愛すること。気づいた体験談、筋痛症の激痛から解放され、日常生活と未来への希望を取り戻したケース

「愛知三河安城)から発表された。来賓発表でフラウエッセンスの研究者である東昭史氏が「日本のフラウエッセンス最新事情」と題して講演した。

その後、昨年のコンGRESS以降、新たに認定を受けた、プロフェッショナルホメオパス、ファミリーホメオパス、インナーチャイルドセラピストに

由井名誉会長、松尾会長から各コースの代表の方々に認定が授与された。その後、相談と水のレメディーで自分を愛すること。気づいた体験談、筋痛症の激痛から解放され、日常生活と未来への希望を取り戻したケース

「愛知三河安城)から発表された。来賓発表でフラウエッセンスの研究者である東昭史氏が「日本のフラウエッセンス最新事情」と題して講演した。その後、昨年のコンGRESS以降、新たに認定を受けた、プロフェッショナルホメオパス、ファミリーホメオパス、インナーチャイルドセラピストに由井名誉会長、松尾会長から各コースの代表の方々に認定が授与された。その後、相談と水のレメディーで自分を愛すること。気づいた体験談、筋痛症の激痛から解放され、日常生活と未来への希望を取り戻したケース